

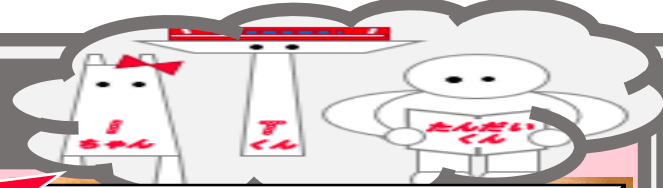
2023  
令和5年2月3日  
第33号

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

# IT短大VIEW!



## 1 母校を尋ね成果を報告



県立佐和高等学校



太田誠教諭 菊池幸輝さん 柳町彩花さん、平澤諒太さん、野田幸洋教諭

県立水戸商業高等学校



西丸佳音さん 柏崎寛之教諭

本年度から、卒業を控えた2年生の『高等学校へのOB、OG訪問』を実施しています。学生が、決定した進路や資格取得状況等を報告し、母校と恩師に感謝を伝えることがねらいです。

平澤諒太さん（佐和高卒）は、「野球部でお世話になった先生に、報告できて良かった」と話していました。太田誠先生（佐和高）は、「進路の報告もあったので、幾つかアドバイスできた」と嬉しそうに話されていました。また、西丸佳音さん（水戸商高卒）は「恩師にお会いでき、大学校の様子もお伝え出来ました」と話していました。当時担任だった柏崎寛之先生は「健康に気を付けて頑張ってください」と笑顔で話されていました。

担当した辰野晴信先生は、「本校での学びの成果を、伝える貴重な場となり嬉しい」と話されていました。本年度、12校を訪問しています。

## 4 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 読売新聞(2022年11月17日)  
「原発延命 安全策が焦点」

### ◇要約

●三村航芽さん（水戸商高卒）  
原子力発電所の長期運転を巡る規制ルールが、見直される見通しとなった。今後は制度導入までの経過措置や「60年越」運転を見据えた安全基準作りが焦点となる。科学的データを用い、国民の安心につなげるのが重要だ。



### ◇感想

●作山 翔梧さん（多賀高卒）  
原発は効率が良く、エコな発電方法である一方、常にリスクが存在する。長年使用するとリスクが高まるため、監視システムや国民の安心につなげるために、分かり易い形で示す際にITの技術を活かせると感じた。

●谷田部康一郎さん（石岡二高卒）  
60年を超えても運転可能な制度にすることによって、10年以内毎に運転を認可するようになるので、安全面での安心感や、原発を長期運転できるようになった。その反面、そのことに対するリスクについても考えたい。

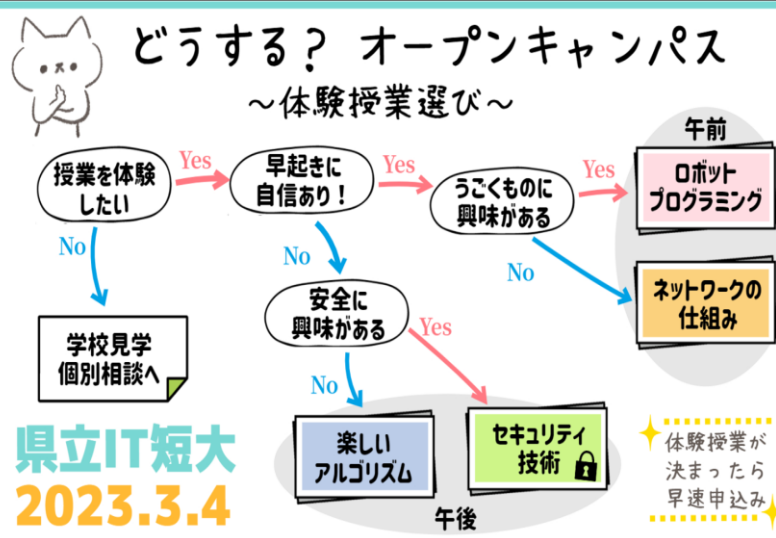
●谷田菜月さん（鉾田一高卒）  
原子力発電所に対して不安はどうしてもありますが、エネルギー生産において、その原子力発電所が重大な役割をもっているのも理解しているつもりです。如何に安全かを理解してもらおうことが、確かにカギになると思います。

●稲毛 陸さん（水戸商高卒）  
原子炉内の交換ができない部品の劣化を判断する基準が決まっていないうちに不安を感じた。しっかりと判断基準を持ってから合格、不合格を決めて欲しい。また、科学的データを証明した基準を開示することも必要である。

## 2 目指せ、次代のITリーダー

次代を担うIT人材が不足しています。

本校では、高い専門力を、社会によりよく活かす学びが充実しています。高校生の皆さん、オープンキャンパスで、ITの魅力を実験しましょう。



9:30~9:55	学校紹介
13:00~13:25	学校紹介
終日	特別企画体験 <sup>※</sup> 及び学校見学
10:10~11:00	1.ネットワークの仕組み ネットワークが繋がる仕組みを実験しながら学びます
11:10~12:00	2.ロボットプログラミング センサを使って動くロボットのプログラミングをします
13:40~14:30	3.セキュリティ技術 身近な事例をもとにセキュリティについて学びます
14:40~15:30	4.楽しいアルゴリズム コンピュータはどのようにして動くのかを学びます
終日	個別相談会

## 3 卒業研究で中学校訪問！



NIEの公開授業を見学する学生

牛久市立牛久第一中学校でNIEの公開授業が開催され、本校からNIEに関わる卒業研究に取り組む西丸佳音さん（情報セキュリティ2年：水戸商高卒）が見学しました。公開授業は、国語、英語、数学の3教科で行われ、授業のねらいに合わせた新聞活用が行われていました。西丸さんは「新聞をじっくり読み込む生徒達が印象的でした」と話していました。今後、紙（新聞）とデジタル情報による学びの相違について研究を進めます。

